

## 会議要録

会議の名称	平成24年度 第3回文化財保護委員会
日 時	平成25年3月21日（木） 14：00～
場 所	和光市役所 6階 602会議室
出席者 ※敬称略	<p>【文化財保護委員】9名中、6名が出席 田中明、副島元子、後藤友子、小田部玲子、森朋久、矢崎康彦 ※欠席者：3名 富岡進、鈴木敏弘、鈴木夕季</p> <p>【事務局】 大久保昭男（教育長）、上篠乙夫（教育部長）、星野裕司（次長兼生涯学習課長）、 亀井義和（生涯学習課課長補佐）、鈴木一郎（文化財保護担当統括主査）、渡辺潤 (文化財保護担当)</p>
傍 聴 者	2名

### 1 開会

#### ○事務局

市民参加条例第12条第4項の規定による会議公開及び要点記録による会議録の公開について説明。

### 2 教育長あいさつ

### 3 文化財保護委員会委員長あいさつ

### 4 協議・報告

#### (1) 平成24年度事業報告及び25年度事業予定について

##### ○事務局から説明 ※詳細は別添資料1のとおり

「平成24年度事業報告及び25年度事業予定」について、事業実施に関する写真資料等により説明。

##### 【平成24年度事業報告】

- ・3月現在、確認調査（試掘）は25件、本発掘調査は8件実施。
- ・9月28～29日、発掘現場見学会を開催。参加者318名。
- ・新倉ふるさと民家園の管理運営を、和光市古民家愛好会に委託。2月現在来園者は101,842人
- ・4月1日に和光市デジタルミュージアムを開設し、3月19日現在14,768カウントの閲覧。
- ・8月17～22日に文化財保存庫の燻蒸を実施。
- ・第四小学校にある歴史資料室を移転した。10月1日設置工事着工、11月30日完成、1月4日稼動。

- ・3月9日に中央公民館で「遺跡発掘調査発表会最新発掘情報」を開催。参加者57名。
- ・文化財パトロールを随時実施。

#### 【平成25年度事業予定】

- ・確認調査（試掘）、本発掘調査、新倉ふるさと民家園管理運営業務委託、和光市デジタルミュージアム管理運営、文化財パトロールを引き続き実施。
- ・午王山遺跡展開催（9月予定）。
- ・「午王山のジオラマを作ろう」開催（坂下公民館との共催事業、7～8月予定）。
- ・白子囃子入門講座の開催（5～7月予定、全10回）。

### （2）和光市文化財保護条例に基づく午王山遺跡の市指定文化財指定について（答申）

#### ○委員長

平成24年7月9日付けで諮問された本件については、文化財保護委員のうち、埋蔵文化財を専門とする鈴木敏弘委員と、副島副委員長・小田部委員・矢崎委員にて、小部会を組織し、3回の小部会による審議を経て、今回の答申を作成した。答申までの経過についてご報告いただきたいが、本日は小部会の会長の鈴木敏弘委員が欠席のため、副島副委員長よりお願ひしたい。

#### ○副委員長から小部会での審議報告

7月9日に諮問されたあと、小部会を立ち上げ第1回目を7月30日に開催し、午王山遺跡の答申について検討していくことと、遺跡の保存・整備における先進地域を視察し、今後の午王山遺跡の活用に役立てるなどを協議した。第2回目は10月5日に開催し、横浜市都筑区の大塚・歳勝土遺跡と横浜市歴史博物館の視察を行った。遺跡公園内に住居・環濠などが再現され、遺跡の地形が分かるジオラマも設置され、子どもが来て学べる公園が整備されており、大変参考になった。そして、第3回目は2月20日に開催し、意見を取りまとめ答申書を完成させた。

#### ○委員長から教育長へ答申

答申内容については別添資料2のとおり。

### （3）和光市指定文化財管理（修理・復旧）費補助金交付要綱について（答申）

#### ○委員長から確認

本件については、第2回文化財保護委員会での協議において、各委員からご意見等を受けて、近隣市区の状況を調査し答申書を作成したが、この内容でよいか伺いたい。

また、答申内容については補助率を設定することとしているが、市長が認めた場合は、個々の状況に応じて対応することができるよう、弾力的な対応が可能な要綱とすべきであることを盛り込んだものとしたが、併せてよろしいか伺いたい。

→【文化財保護委員一同】 了解

#### ○委員長から教育長へ答申

答申内容については別添資料3のとおり。

#### (4) その他

##### 【文化財保護委員からその他の意見等】

＜午王山遺跡で発生した火災について＞

○委員長

3月13日に午王山遺跡の北側の斜面林で火災が発生し、斜面林の一部が焼失したので報告させていただきたい。不注意で大切なものが消失する事があるので、注意していきたい。

＜午王山遺跡の市指定文化財指定の今後の流れについて＞

○小田部委員

午王山遺跡の市指定文化財指定について、今後の予定を教えてほしい。

○事務局

次の定例教育委員会の議題に挙げて、審議され承認された後、市指定文化財として告示される予定である。

＜市指定文化財指定と指定文化財管理費補助金交付要綱の答申について＞

○副島副委員長

午王山遺跡の市指定文化財指定の答申にかかる今回の指定部分については、環濠が含まれず住居跡も一部分に限られるので、今後は住居跡の大部分と環濠のある道路部分も含めて指定されるように今後見てもらいたい。

また、和光市指定文化財管理費補助金交付要綱の答申については、その年度中に議会の議決がされない場合には補助ができないなど、臨機応変に対応するには支障を来たす可能性がある。市民の小さな声を取り入れて、対応してもらえるように願いたい。

＜デジタルミュージアムの活用について＞

○矢崎委員

24年度デジタルミュージアムのカウント数は多いとみなしてよいか。また学校では活用されているか。よい教材として使えるので、学校でもよく活用されるよう要望したい。

○事務局

カウント数は14,000人を越えており、かなりの人数が閲覧しているとみられる。小中学校で利用されているかは把握していないので、学校にPRして社会科の学習での活用を図りたい。校長会などでは活用されるよう説明している。

<古文書研究会の研究成果について>

○後藤委員

古文書研究会では、市指定文化財の永代地方目録の研究中である。後程、研究成果を生涯学習課に提供したら、活用してもらえないか。

○事務局

個人情報が含まれている場合は、その部分について開示できない情報はあるが、その他はデジタルミュージアムでの掲載を行い、公開することを検討したい。

<その他、事務局から説明>

○事務局から

3月議会で最近剪定された大イチョウの状態について議員から質問を受けたが、剪定については所有者の寺から適切な剪定を行っていると回答があり、2年前の剪定を委託した樹木医からも樹勢に影響を与える剪定ではないと意見をいただいている。

## 5 閉会